



# 学校だより (2月号)

自ら学び、心豊かでたくましい実践力をもった子どもの育成

太宰府市立水城西小学校 TEL923-2559 文責:教頭 比嘉一人

1月22日(木)の参観・懇談は、人権教育をテーマとして学習を公開し、保護者の皆様と話をさせていただきました。ご来校ありがとうございました。今回の学校だよりでも、人権教育をテーマに発信します。

## 当事者から学ぶ・・・障がいは長所？

以前、脳性麻痺の障がいがある方からお話を聞く機会がありました。その方は、自分で歩くことに時間がかかり、言葉も不明瞭でした。私は、その方から聞いた忘れられない言葉があります。それは、「障がいは長所」という言葉です。障がいがあることで難しいことが少なくないため、家族や友人をはじめ様々な方に頼ることで、様々な方とのつながりができるとのこと。つまり、障がいがあるおかげで、多くの方とのつながりができたと言うのです。素晴らしい考え方だと思いました。

私たちは、一人ひとり得意なことや苦手なことがあり、一人ひとり偏りがあります。「人は、得意なことで尊敬され、苦手なことで愛される」という言葉があります。つまり、得意なことも苦手なことも、長所になりえるということです。人権教育の究極の目標は、「自分も他人も大切にして、自分や相手の得意なことや苦手なことを丸ごと受け入れてつながりをつくる」ことだと思います。水城西小学校の本年度の重点目標は「つながり」ですが、人権教育の目標も「つながり」なのです。では、他者と「つながり」を作る上で、意識できるとよいことを、以下の項目でお伝えしたいと思います。

## マイクロ・アグレッション(小さな攻撃)

こんな発言を聞いたり言ったりしたことはありませんか。

- ①「大事なことから、お父さんとお母さんに伝えてね。」
- ②「もっと男の子らしく(女の子らしく)した方がよいと思うよ。」
- ③「ご年配なのに、パソコンを扱うのが上手ですね。」
- ④「そっとしておけば、部落差別はなくなると思いますが・・・」
- ⑤「子どもは元気いっぱい外で遊ぶことが大切だよね。」



一見、何の問題もないように感じるかもしれませんが、何気ないこれらの発言は、結果的に当事者を傷つけてしまうことがあります。このことを「マイクロ・アグレッション(小さな攻撃)」と言います。では、相手を傷つけるつもりはなく発したこれらの言葉は、どのように受け取られることがあるのでしょうか。以下を読む前に、少し考えてみてください。・・・では、それぞれの発言の受け止められ方の可能性を書いてみます。

- ①「わたしの家には、お父さんしかいないんだけどな・・・」
- ②「男の子らしい(女の子らしい)って、どういうこと? 私は異性との方が気楽に付き合えるのに・・・」
- ③「年配の人はみんなパソコンが苦手と思ってる? 私はIT企業の社員なのですが・・・」
- ④「部落差別があることで、今でも苦しみから逃れられないのですが・・・」
- ⑤「この子は生まれつき運動ができない病気でつらい思いをしているのですが・・・」

いかがでしょうか。何気ない気持ちで行った言葉が、知らず知らずのうちに様々な人々の心を痛めているかもしれません。まずは、「自分も誰かを差別しているかもしれない」と意識することが大切です。その上で、発言する際には、「この言い方で大丈夫かな」「誰かを傷つけることにならないかな」と立ち止まって考えることができるようになりたいものです。

## 人権学習参観に対する前向きな感想をお願いします!

私たち教師のモチベーションは、保護者の方からの言葉で高まります。人権学習を参観された前向きな感想をいただくと、私たちの励みになりますので、QRコードか以下のフォームからよろしくをお願いします。もちろん、上述した内容の感想でもかまいません。

<回答 URL><https://forms.office.com/r/FkixppmM2D>



2月の主な行事予定	3月の主な行事予定
2日(月) 全校朝会	3日(火) 登校班班長会 6年生ありがとう集会
3日(火) 登校班班長会	4日(水) 放課後子ども教室
5日(木) 入学説明会	9日(月) 読み聞かせ(1, 2, 6年)
6日(金) 委員会活動	16日(月) 修了式(6年) 卒業式準備(特別時制)
11日(水) 建国記念の日	17日(火) 第54回卒業証書授与式 ※1~4年生はお休み
13日(金) クラブ活動(最終)	20日(金) 春分の日
18日(水) 学校運営協議会	23日(月) 短縮時制(給食あり) ※13:45下校
19日(木) 支会常会・一斉下校	24日(火) 修了式(給食なし) ※12:00下校
23日(月) 天皇誕生日	25日(水) ~4月6日(月) 春季休業日
24日(火) 24(にし)の日 保幼小連絡会	
25日(水) 学校保健委員会	
26日(木) 参観・懇談(1~5年) 感謝の会(6年)	
27日(金) 委員会活動(最終)	

## 学校だより(冬休み号)に対するメッセージについて

学校だより(冬休み号)では、もちつき集会のよさについて発信しました。今回も、メッセージをいただきましたので、2つ紹介させていただきます。メッセージいただいた皆様、大変ありがとうございました。

※冬休み号の閲覧はこちら → <https://www.dazaifu-e.ed.jp/site/mizukinishi/709.html>

○保護者と教師はチームという言葉にハッとしました。学校に頼るだけじゃなく、進んで学校行事や地域行事に参加することが子どもの為にもなるのだな、と理解できました。

⇒保護者と教師はチーム。本当にそう思います。「子どもたちに健やかに成長してほしい」という思いは、保護者も教師も地域の方々も、みんな一緒です。私たち大人が顔と顔を合わせ、つながり、一緒に楽しく子どもたちと関わることが、子どもに好影響を与えることは間違いないと思います。今後とも、一緒に協力させてください。メッセージありがとうございました。

○人とのつながり、大切にしたいです。旗持ちをして毎日見守りをしてる方が、あいさつ名人カードという小さな紙を子供に渡していました。素敵なたながりだなと思いました。

⇒この取組は学校運営協議会でのご意見から始まっています。学校だより(10月号)に掲載していますので、よろしければお読みください。子どもたちの素敵なあいさつをほめるために始めたのですが、地域の方と子どもたちがつながるためのツールになっているようです。毎日誰かが子どもたちの安全を守ってくれています。感謝を伝えるためにも、まずはつながることが大切だと改めて感じる事ができました。

## 読み聞かせボランティアを募集しています。

本校では月に一回、朝の15分間、教室で「読み聞かせボランティア」の方々から読み聞かせをしていただいています。タブレットやスマートフォンが身近になり、本離れが進んでいますが、読書や読み聞かせには以下の魅力があると言われています。

- ①様々な知識が身につく、語彙を獲得することで表現力が高まる
- ②他者の視点に立つことで、共感力や想像力が高まる
- ③知的好奇心が刺激を受け、興味や関心をもてるが増える
- ④自分だけの居場所になるため、ストレスを軽減することができる
- ⑤読み聞かせで耳から入る言葉は、響きやリズムをもった楽しさになる
- ⑥読み聞かせは、読み手や聞き手で感動を共有し、つながりを生み出す



今年度は2月16日(月)、3月9日(月)の8時30分から15分間で実施します。ご興味のある方は見学からでも構いませんので、是非おいていただくと嬉しいです。地域の方でも大歓迎です。